



春日市地域活動指導員だより No.100
平成27年3月10日号
春日市教育委員会 社会教育課
TEL575-4121 fax593-7380

「地域で子どもを育てる実践発表会」

平成27年2月8日(日)春日市ふれあい文化センター 大会議室で「地域で子どもを育てる実践発表会」を開催しました。子どもたちの「生きる力」と「深い郷土愛」を育むため、学校、地域、家庭の三者が連携して実践している活動や成果についての発表が行われました。

この日は、約100名の方が参加し、発表者の話に真剣に耳を傾け、時には涙する場面も見られました。日頃から、子どもたちと向き合っている参加者にとって、とても心に響く発表となりました。

今回は、初めての試みで、中学校ブロックに分かれ、県福岡教育事務所 香月 伸公 先生ご指導のもと交流会を行いました。初めて顔を合わせる方も多かったようですが、「子どもの理想の未来像」などをテーマに活発な意見交換が行われ、意義ある交流ができ、参加者からも大変好評でした。

これから更に連携し、地域で子どもを育てる風土が広がっていくことでしょう。



■実践事例発表■

「弥生子ども会による和太鼓演奏と活動発表」

弥生子ども会育成会 会長 浦塚 由美子 さん

子どもたちの元気な和太鼓演奏で発表会の幕が開き、5年生と6年生の4名の子どもたちが、アンパンマン音頭と弥生音頭を披露してくれました。子どもたちのかわいらしい演奏に参加者は目を細めていました。

地域子ども全員を地域で育てていきたいという思いから弥生地区の子ども会は、今年度より、任意加入制から全員加入制に変わりました。全員加入制にしたことで、今まで参加できなかった子どもが参加できるようになり、更に活動の幅も広がりました。まだまだ試行錯誤の連続ですが、今後も地域と連携しながら、子どもたちのために活動を行っていきます。



「春日南小学校区アンビシャス広場の活動発表」

春日南小学校区アンビシャス広場

コーディネーター 竹内 富美子 さん



ちくし台公民館「寺子屋」の様子



春日南小学校区アンビシャス広場の「チャレンジクラブ」は、学校の各教室で将棋やパソコン教室、料理教室など様々な体験活動が行われており、子どもたちは学校終了後、帰宅せずに直接活動に参加しています。

PTA 一人一役の中にアンビシャスの見守りが位置づけられ、広場の案内を校内放送で流すなど、学校が積極的に協力しています。活動の指導は地域の人が行うなど、まさに学校、地域、家庭の三者連携の理想の姿です。

今年度は、ちくし台公民館で「寺子屋」がスタートし、大学生ボランティアが英語の指導をしています。英語を楽しく学ぶことができ、異年齢交流の場ともなっています。

惣利公民館では、図書室を開放し子どもたちが気軽に立ち寄れる居場所作りを行っています。

春日南小学校区アンビシャス広場は、子どもはもちろん、地域の大人の大切な居場所になっています。

「子どもの頃に受けた地域愛を 今の子どもにつなぐ」

春日東小学校放課後児童クラブ

主任指導員 鎌田 和也 さん

子どもの頃、地域活動には消極的だった鎌田さんは、たまたま参加した資源回収で地域の人からかけられた「ありがとう！」の言葉がうれしくて、その後活動に参加するようになったそうです。「『ありのままの姿を受け入れ、真剣に向き合い、いいことは褒め、間違ったことは叱ってくれた地域の方』これこそが私が受けてきた『地域愛』です。」と語る鎌田さん。

子どもの頃に受けた愛を今の子ども達につないでいきたいという思いで、現在子どもを育む活動に積極的に参加しています。

地域の皆さんの日頃の声掛けや活動は、必ず子どもの成長を助け見守っているはずです。10年後20年後、鎌田さんのような立派な青年に成長していることを信じ、地域みんなで子どもを育てていきましょう。



■ 交流会 ■



コーディネーター

県福岡教育事務所社会教育室 社会教育主事 香月 伸公 氏

実践発表後、香月先生ご指導のもと、まずは、アイスブレイクで一気に盛り上がり、和やかな雰囲気になったところで「どんな子どもに育てたいか」や「そのために地域の大人はなにをすべきか」というテーマにそってワークショップを行いました。

中学校ブロックごとに学校、地域、家庭の三者が混成した4～6名のグループ構成だったこともあり、それぞれの立場からの意見を聞くことができ、とても実りある交流会になりました。

同じ中学校ブロックで顔は知っているものの、話はしたことがなかったという方も多かったようで、「とてもいい機会になった」「このような交流の機会をもっと作ってほしい」などの意見が寄せられました。

相手を知ることからつながりが生まれ、更に子どもたちを育む力となっていくことでしょ。



平成27年度入学説明会 子育て講演会



春日市では、日頃、『かすが家庭教育学級』や講演会などに参加することができない保護者にも学びと気づきの場を提供するため、平成16年度から入学説明会時に子育て講演会を開催しています。

講演内容として、子どもの入学前にぜひ保護者の方に知っていただきたいことを学校の方針にも照らし合わせて話していただいています。

小学校では、おもに“基本的生活習慣のこと”“コミュニケーションのこと”などなど
中学校では、圧倒的に“スマホやネットについてのこと”がテーマになっています。

保護者アンケートからの抜粋

今年度の開催は以下のとおりでした。

(敬省略)

学校名	テーマ・内容	講師
春日小学校	子どもを伸ばす親力	福岡教育事務所 社会教育室 主任社会教育主事 重富 泰敏
春日北小学校 春日南小学校	コミュニティスクールとしての 家庭の役割	福岡教育大学教職大学院 教授 平石 信敏
春日東小学校	子育ての喜びと 今・大切にすること	家庭教育研究家 熊丸 みつ子
春日原小学校 大谷小学校	子どもともに成長する 親へのヒント	東明館小学校 校長 今村 隆信
春日西小学校 春日野小学校	基本的生活習慣の 家庭での役割	九州大学大学院農学研究院 助教 佐藤 剛史
須玖小学校 日の出小学校	小学校入学にあたって	元 福岡女学院大学 教授 牛島 達郎
天神山小学校	子どもの健康力と体力を考える	九州共立大学スポーツ学部 学部長 照屋 博行
白水小学校	小学校における家庭教育 の重要性	スクールカウンセラー スーパーバイザー 平 尚江
春日中学校	スマホ世代の子どもの現状と 大人の対応	NPO法人子どもとメディア インストラクター 黒田 可奈子
春日東中学校 春日西中学校	スマホ/SNSとの付き合い方	オフィスラバーリング 代表 置鮎 正則
春日南中学校 春日北中学校	スマホ世代の子どもの現状と 大人の対応	NPO法人子どもとメディア インストラクター 江頭 久美
春日野中学校	スマホ世代の子どもの現状と 大人の役割	NPO法人子どもとメディア インストラクター 和田 貴美子

要点：「子育ては“叱って、ほめて、伝える、愛する、関わる”ということ」

▽自分の子育てに自信がもて、周りの大人との関わりが子どもにとって大切だということを再確認できました。

要点：「学校で習うことを積み上げていくためには、家庭での生活習慣や体験活動など考える力が大事」

▽子どもと向き合うことの大切さをあらためて考える良いきっかけになりました。

要点：「睡眠不足・筋肉(汗腺)の働きの衰え・スマホなどの機器依存・食生活の乱れが、子どものやる気を奪っているのかもしれない」

▽睡眠と食生活の大切さがとてもよくわかりました。早速、今日から気をつけて生活したいと思います。

要点：「スマホ・ネットはとても便利な道具であるが、子どもに与えるのなら、親がサポーターになり、親子でのルール作りが大切。」

▽子どもに使わせる前に、自分達が勉強しておく必要があると思いました。

(1月下旬～2月中旬 各小中学校で開催)

“もっと知りたい”“もっと学びたい”という保護者に春日市教育委員会社会教育課では、入学説明会のような子育てに関する講演を『かすが家庭教育学級』の講座で実施しています。

小中学校の子どもを持つ市内在住の保護者の方が対象です。

募集についての詳細は、4月下旬に市ウェブサイトに掲載します。



第23回春日市弥生の里児童画大賞展授賞式



「弥生の里大賞」を受賞した春日南小学校 3年生
古賀 桜介さん「高いぞ高いぞ!! イルカジャンプ。」

「イルカの色を調整しながら、何回も重ねて塗りました。背景の観客がいるところを色んな色をぼかしてみました。とべっとべっ イルカジャンプ!!」

1月24日(土)に、第23回春日市弥生の里児童画大賞展の授賞式が春日市ふれあい文化センターサンホールで行われ、受賞者とその家族、約180名が出席しました。

授賞式では、弥生の里大賞をはじめとする上位11賞、各学年の金賞・銀賞・銅賞受賞者の合計47人に賞状が贈呈されました。受賞者は緊張した面持ちで客席からの拍手を受けていました。

当日に初日を迎えた同センターギャラリーでの受賞作品展示会(4371点の応募作の中から選ばれた入選以上294点を展示)も大いに賑わい、初日だけで約500人が来場しました。

キラリ 春日の人

白水ヶ丘地区自治会

会長 いわさき ひさよし 岩崎 久義 さん



岩崎さんは、子どもが大好きで、アンビシャス広場や通学合宿など子どものための活動を積極的に行われています。夏休みは「竹細工体験広場」、10月は公民館全館を開放し「こども遊び広場」を開催。ダーツや剣作り、お手玉、ピース作りなどのブースが設けられ、たくさん子どもたちが参加しています。

更に活動の幅を広げるため、今年度は、社会教育課主催の「ボランティア養成講座」に参加し、学んだ遊びを活動にいかしています。

昨年度に引き続き行われた公民館での通学合宿には、17名の子どもたちが宿泊研修を体験しました。「子どもたちの心の片隅に地域の人との思い出が少しでも残ってくれば、それだけでいいんです。」と語る岩崎さん。きっと、その思い出が子どもたちの中で郷土愛へとつながっていくことでしょう。このような活動をとおし、地域のつながりも更に強くなっているようです。

「何事も心配するよりやってみることが大事です」と、いつも前向きでユーモアいっぱいの岩崎さんのまわりには自然と人が集まり、地域みんなで子どもを見守っています。

アンビシャス広場や子ども会など、社会教育に関する情報は、春日市ホームページ内『子育て・教育』⇒『社会教育』からご覧いただけます。